

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well うエル おおさか

Vol. **50**
2024
winter
2月



安威川ダム



総持寺(庖丁式)



若國公園パラ園



茨木市文化・子育て複合施設 おにくる

写真提供 大阪府・茨木市

特集

- ①主任児童委員創設30周年企画・
子育て中の親子を支え、見守る主任児童委員
- ②「児童委員活動研究集会」開催
- ③ICT×民生委員

◎イキイキ ハツラツ
民生委員・児童委員さん
茨木市民生委員児童委員協議会

民児協だより
吹田市民児協／四條畷市民児協
藤井寺市民児協／阪南市民児協

読者プレゼント

詳細は、
P14を
みてね!



洋菓子セット **4名様**

..... 主任児童委員制度 創設30周年記念企画!

子育て中の親子を支え、見守る **主任児童委員**

子育てをめぐる課題が多様化・深刻化するなか、「主任児童委員」制度は、地域における児童健全育成活動の中心になる存在として、平成6年に創設され、令和6年1月に制度創設30周年を迎えました。しかし、地域によっては、主任児童委員の存在がよく知られていないという課題もあります。

今回は、主任児童委員として活躍している3名の委員にインタビュー。

日々の活動のようすや思いについて聞きました。

四條畷市 旭 恵美里 さん
(主任児童委員歴13年)

ポイント

- 関係機関【中学校】との連携…中学校内での見守り活動
- 子育て家庭へのサポート…子育てサロン・イベント情報のSNS発信
- 主任児童委員の理解を広げるための広報活動

趣味特技

趣味は、K-POP（韓国の音楽）を聴くこと。ライブにも行き、楽しんでいます。娘と一緒にバレエもはじめました。仕事をしながら、主任児童委員として活動するにはパワーが必要。バレエは体力もつき、気分転換にもなり、一石二鳥です。

**中学校で週1の「見守り隊」**

毎週1回、中学校の昼休みに主任児童委員2人1組で「見守り隊」として活動しています。

先生とは違う立場で、“地域のおばちゃん”として、運動場や図書館など子どもが集まる場所で、多感な時期の子どもたちを見守っています。顔なじみになり、会うといつも声をかけてくれる子どももいます。

これまで関わる事が少なかった中学校の先生とつながるととても良い機会でもあり、大事な活動のひとつです。この活動が他の中学校にも広がればと思っています。

「あの時、救われた」ということば

月に1回、子育てサロン「カンガルーホップ」を開催しています。

以前、要保護家庭のサポートとして、0歳の赤ちゃんを保育したことがありました。2歳に成長した子どもとお母さんがサロンに遊び来てくれ再会。お母さんから「あの時、本当に救われた」と言ってもらえた時、やっけていてよかったと思いました。

わずかな関わりでしたが、役に立っていたんだと感じた瞬間でした。

また、SNSから情報を得る子育て世代の方に合わせ、サロン用のLINEを作り、子育てに関する情報の発信もしています。

届けたい情報をタイムリーに発信できるのがSNSの強みです。

つながりの輪をひろげるため

子育て中のお母さんが、前向きに楽しく子育てをしていけるようつなぎ役として、親子の声に寄り添いながら、地道にサポートし、お母さん同士つながりの輪を広げていきたいと思っています。

また、主任児童委員のこと広く知ってもらえるよう、引き続き、主任児童委員の活動や思いを地域の方や関係機関に伝え、理解を広めていきたいと思っています。



子どもたちが成長する姿も
楽しみのひとつです。

趣味特技

趣味は野菜づくり。
収穫した野菜を配り、喜んでもらえると
作ってよかったと思います。
特技はピアノ。孫のピアノ発表会で
連弾を披露したり、敬老慰安会の
出し物ではフラダンスの伴奏をしたり、
地域活動にも活きています。

貝塚市 杉岡 宏彦 さん
(主任児童委員歴7年)

ポイント

- 子どもの見守り…あいさつ運動、全校集会での自己紹介
- 関係機関【小学校】との連携…先生との交流会・情報交換の場づくり
- 子育て家庭へのサポート…赤ちゃん訪問、冊子作成



こどもの笑顔に心あたたまる

「おはよう。元気かぁ、今日は寒いなぁ。」—「おっちゃん、おはよう!寒いけどへっちゃらやで。」
朝のあいさつ運動では、子どもたちに、一言くわえて声がけすることを心がけています。子どもの笑顔を見るとホッと、寒い冬でも心があたたまります。

小学生に民生委員・児童委員(以下、児童委員)、主任児童委員の存在を知ってもらうため、毎年4月の全校集会で自己紹介し、「顔覚えてやぁ。困ったことがあったら相談してな」と伝えています。

地域の子どもたちが健康で楽しく、毎日を過ごせるようにという思いをもって活動しています。

大事にしている小学校との関係づくり

小学校に呼びかけ、全学年の先生との交流会を開催しています。先生から気にかけてほしい子どもの情報を聞くと、児童委員と担任の先生とが話す場を設け、共有します。逆に、児童委員から気になる親子の情報を聞いたときには、生徒指導の先生に伝え地域で見守ります。

小学校と地域の風通しをよくしておくことで双方が相談しやすくなります。そのつなぎ役として小学校との関係づくりを大事にしています。

心と心のつながり

今年度、児童委員の活動用にハンドブックを作成。

赤ちゃん訪問時や子育て中の親への情報提供に活用しています。親子と関わるときは、『心と心のつながり』を大切に。相手のことを思う気持ちは表情にでます。相手の話を受け止め、心をもって、自分の思いを伝えることを心がけています。

また、今後は、担当校区の小学校との連携だけでなく、他校区の小学校とも情報交換する機会がもてないかと教育長に提案しています。貝塚市内全体で、小学校と主任児童委員が協力できる体制づくりができないだろうか。かんたんには進みませんが、あきらめずに根気よくアプローチしたいと思います。

児童委員活動

はんどぶっく

2023年改訂



貝塚市民生委員・児童委員協議会

貝塚市の子育て情報などをまとめた冊子。
相談内容に応じて、必要な情報を紹介。

豊中市 武市 智子 さん
(主任児童委員歴19年)

趣味特技

趣味は元気がでる音楽を聞くこと。
大好きなアーティストのコンサートに
行くことが楽しみです。
友だちとのおしゃべりや、食べ歩きする
こともリフレッシュ方法のひとつ。
自分が楽しめる時間をもつことを
大切にしています。

ポイント

- 子育て家庭へのサポート
…個別相談対応(不登校児等)・子育てサロン・イベントの実施
- 関係機関【小学校・中学校】との連携
…懇談会(教育長・校長)・CSWと学校訪問
- 主任児童委員の理解を広げるための広報活動



子育て家庭への見守り

登下校の見守りや行事など積極的に小学校に出向き、校長先生と会話を重ねていくなかで児童の相談を受けることが増えました。

兄弟ともに障がいがある家庭の見守りでは、お母さんに会うたびに「下の子が座れるようになった」などうれしそうに、その時々の子どもの成長を教えてください。

不登校児童を小学校1年生から中学校まで見守ったケースでは、その子どもが大学まで行き、企業に就職したという連絡をお母さんからもらったこともありました。いろんな壁を乗り越え、成長していく子どもたちの話を聞くことが大きな喜びで、地区の児童委員と一緒に見守っています。

親子と出あう大切な場

各民児協で、年1回開催している「マタニティー&ファミリーコンサート」は、わたしたち主任児童委員が妊婦さんや子育て中の親子と出あう大切な場です。

生で音楽を聞く機会の少ない方々にもリラックスして楽しんでもらえるように企画しています。また、主任児童委員のことを知ってもらうための紹介をしたり、チラシを配布するなど広報活動にも力をいれています。

毎月開催している子育てサロンでも、お母さんたちと笑顔で接することや、相談しやすい雰囲気づくりを心がけています。

関係機関とのつなぎ役

主任児童委員は、つなぎ役です。「困ったことがある」と助けを求められたときにしっかり耳をかたむけ、それに応じることが大切で、地域や関係機関との連携なくしてはできません。定期的な交流をきっかけに顔を覚えてもらい相談につながっていくこともあります。

これまで豊中市で行ってきた教育長との懇談や、各地区の小中学校校長と児童委員と主任児童委員との懇談会、社協のコミュニティソーシャルワーカーとの学校訪問など、今後も継続し、連携を密にしていきたいです。



「困ったことがあったら相談してね」と
子育て中の親子に配布するチラシ

「児童委員活動研究集会」開催

— こどもまんなか社会における児童委員・主任児童委員活動 —

12月14日、大阪府民児協連 児童福祉部会主催の「児童委員活動研究集会」を大阪国際交流センターで開催。府内94名の児童委員・主任児童委員が参加しました。講師の泉谷先生から「こどもまんなか社会における児童委員・主任児童委員活動」をテーマに、子ども・子育て家庭をめぐる状況、地域全体で子どもを育む取り組み事例、児童委員・主任児童委員に期待される役割について話がありました。

児童委員、主任児童委員として活動するなかでの大切なポイントを紹介します。



聖隷クリストファー大学
社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 泉谷 朋子氏

地域で子どもを育むために大切なポイント

- 日頃から、住民、地域で活動する団体や関係機関とつながり顔の見える関係をつくる。
- 地域のニーズを知り、ニーズへの対応を児童委員、主任児童委員、関係者等と一緒に考える。
- “気になる”ことを周りに伝え、発信する。
発信することで情報が入ってくるように。
- 見守るから“おせっかい”へ。
「だいじょうぶ?」と声をかけてみることで関わるきっかけに。

連携の基本はコミュニケーション

主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する(主に任ずる)民生委員・児童委員です。児童委員と主任児童委員の連携について、地域によって課題になることがありますが、連携の基本は、“コミュニケーション”。児童に関することだけでなく、民生委員児童委員協議会の一員として、会話を通してお互いの活動を知り、理解しあい、一緒に活動することが大切です。

参加者の感想

「子どもは知らない人にSOSを出さない」という言葉が印象に残りました。毎日のあいさつ運動の大切さを改めて感じました。子どもたちの身近な“おっちゃん”になれるようがんばります。



参加者の感想

地域で気になる子どもの見守りをする際、子どもだけではなく、家族全体を見守り、親との関係を作っていくことが大切だということがよくわかりました。





ICT×民生委員

(情報通信技術)

ー民生委員の活動環境改善に向けてー

近年、地域住民を取り巻く福祉課題が多様化し、民生委員・児童委員（以下、民生委員）の役割が高まるなか、働く委員の増加や担い手不足等により、活動の負担軽減は大きな課題となっています。そこで、本特集では、大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用し、民生委員の活動環境改善のため、タブレットを導入した民児協の取り組みについて紹介します。

河内長野市民児協

● 活動しやすい環境づくりをめざして

河内長野市民児協では、働きながらも活動しやすい環境づくりを推進するため、約60台のタブレットを導入。令和5年3月には市の補助金を活用して11地区の委員長に、9月には大阪府の助成金を活用して部会長、広報委員長、モデル地区の民生委員全員に貸与しました。

配布後は、タブレットの使い方等を学ぶ「タブレット活用講座」を小規模定員で複数回に分けて開催。初めて触る方にもわかりやすく説明することを心がけました。

また、月に1回、「1日ヘルプデスク」を設置し、タブレットに関する困りごとへのサポート体制を整えています。

● オンラインでの会議開催

河内長野市の民生委員は、約4割が就労しています。働きながらも活動がしやすくなるよう、会議のオンライン開催も試んでいます。時間の確保が難しい方も効率的に会議に参加することが可能となります。「民生委員のみなさんがスムーズにオンライン参加ができるようにいねいに進めていきたい」と話すのは事務局の井口さん。

● 負担軽減に向けた仕組みづくりを

「今後は、民生委員同士が、情報共有しやすくなるようメール環境を整え、タブレットがあるから活動しやすくなったと言ってもらえるようになれば」と前向きに話すのは事務局の好川さん。

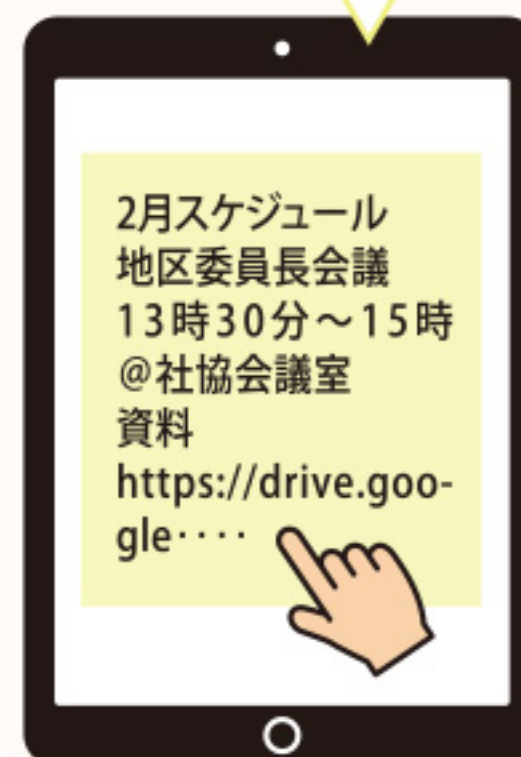
河内長野市民児協は、協力員制度や大学生のインターンシップ体験、CSWとの連携など、委員が活動しやすい環境づくりに先進的に取り組んでいます。ICTの導入も、その一つです。「ICTで培ったスキルを継続できるような仕組みをつくり、地域の中で大切な役割を担っている委員の負担軽減と担い手確保につながれば」と、吉田会長は締めくくりました。

● 会議資料がタブレットで閲覧可能に

WEBサイト「Googleドライブ」を活用することで、会議スケジュールの確認や、資料を事前に共有することができるようになりました。

会議に参加した地区委員長は、「これまでは地区の民生委員に知らせたい情報は資料をコピーしていたが、データですぐに共有できるようになり、とても便利になった」と笑顔で話します。

URLをクリックすると
会議資料を見ることができる



タブレットの本格活用はこれから。
委員の意見を聞きながら、
民生委員の活動強化に努めていきたいです。



「思っていたより使いやすい」と積極的に操作方法を学ぶ参加者



左から土橋崇之課長(事務局)、吉田妙子会長、
井口裕美係長(事務局)、好川修平さん(事務局)

大東市民児協

● つながりが途切れないように

大東市社協では、令和5年8月に大東市民児協、校区福祉委員長等を対象にタブレット55台を導入し、その内29台を民児協の理事(三役・正副地区委員長)に貸与しました。

これまで、民生委員に情報発信をする際、LINEを利用していましたが、スマートフォンをもっていない方には同じタイミングで情報を伝えることができず、その差を解消したいと思っていました。また、導入検討時はコロナ禍で、会議等の開催が難しく、“つながり”が途切れないようにしたいという思いもあり、タブレットを導入することにしました。



佐々木 志奈さん(事務局)

● タブレット講座の実施と配布後の工夫

導入に当たり、タブレットの操作方法と「LINE WORKS(※)アプリ」の使い方を学ぶ講座を開催。操作に不安を感じていた参加者も、「自分にもできそうだ」と前向きに学ぼうとする姿がありました。

また、タブレットになじみがない方にも、定期的に触っていただけるよう「脳トレアプリ」を導入。1日1回、アプリを利用することを呼びかけると、これが功を奏し、タブレットに触る習慣がつくと同時に、操作方法を覚えることにもつながりました。

さらに、1週間に1回程度、事務局から情報発信し、メールをチェックしてもらえよう工夫もしています。

● タイムリーな情報提供が可能に

「LINE WORKS」は、スケジュールの共有やグループトーク(チャット)ができ、さらにアンケート機能もついています。

これまで郵送していた会議の案内やイベント等の必要な情報を一斉にメール送付することで、タイムリーに情報を届けることが可能となりました。また、部会ごとにグループを作っているため、グループ内で共有したい連絡も簡単に行えます。

会議資料は、タブレットで確認できるため、会議によってペーパーレス化を進めています。

LINE WORKS(※)

LINEのビジネス版。情報や予定を共有しあって活動する組織・チームのためのコミュニケーションツール。チャット機能、アンケート調査、ファイルの保存や閲覧も可能。

● 災害時の状況把握が迅速化

「アプリを導入し、一番効果を感じている」と佐々木さんが話すのは、災害時等の状況把握。台風の被災状況をFAX等で確認していた頃は、回答が揃うまでに1週間程度要していましたが、アプリのアンケート機能を使用することで、翌日には回答が集まり、迅速に状況を把握することが可能に。さらに、回答内容は、自動集計されるため、結果をすばやく共有することもできます。

● お互いの地区の底あげに

タブレット導入後、アンケート調査を実施すると、「導入してよかった」との回答が約75%もありました。

導入1年目は、タブレットに慣れ、事務局からの発信をキャッチしてもらうことを目標にしていたのですが、部会によっては、グループトークを利用し、会議前に委員同士で内容の確認を行うこともあり、活用の幅が広がっています。

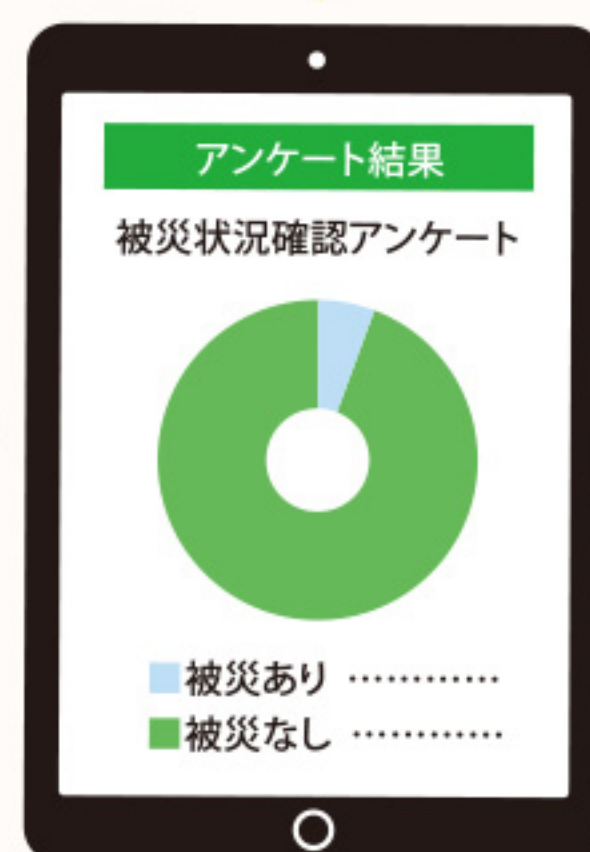
「今後は、他地区の情報を気軽に聞きあったり、相談しあったり、委員同士が双方向に情報交換し、活性化されると、お互いの地区の底あげにつながる」と佐々木さんは、先を見据えて話します。

積極的にICT化に取り組み、民生委員活動の推進につなげている大東市民児協に今後も注目です。

① アンケートフォームから、簡単に回答できる。

② 自動でデータ化されたアンケート集計

新着
被災状況確認アンケート
台風7号による被害状況を
確認するアンケートです
+ 被害がありますか?
☐ 被災あり
☐ 被災なし



地域共生社会の実現に向けて活動を推進する茨木市の民生委員・児童委員（以下、民生委員）の皆さん。昨年は、「心のバリアフリー音楽会」を開催し、障がい者福祉にも接点を広げることができました。子育て支援、学校訪問など、暮らしやすい地域づくりをめざす茨木市民児協の取り組みをご紹介します。

トキイキハツシツ

民生委員・児童委員さん

●茨木市民生委員児童委員協議会●

みんなちがってみんないい
心のバリアフリー音楽会を開催

障がいのある人もない人も
みんな楽しんで音楽会

茨木市民児協では、大阪府民生委員児童委員協議会連合会の助成金を活用した市町村民児協活動振興事業として、昨年10月に「みんなちがってみんないい 心のバリアフリー音楽会」を開催しました。平成13年に仙台市ではじまり、現在、全25カ所で開催されている「とっておきの音楽祭」にならった、障がいのある人もない人も、みんな一緒に音楽を楽しむためのイベント。出演者は、ダウン症や脳性麻痺、四肢麻痺など、障がいがありながら音楽活動を行っている4組のアーティストの皆さんです。

広報活動としてチラシを作成し、図書館など施設のほか、地域の障がい者福祉サービス事業所などを訪問し、チラシの配布を依頼しました。日頃の活動では、障がい者施設と接点が少ない民生委員がほとんどでしたが、訪問することで顔つなぎができる機会となりました。

音楽会では、幕間に、民生委員の歴史や茨木市民児協の活動について紹介。「男女二楽坊」、「くぜみー」（下記写真）ほか、ファミリーバンド「ここ

チラシに使用している漢字には、すべてふりがなをつけ、読みやすいよう配慮。



「男女二楽坊」(左より河内博さん、朱永賢さん) 河内さんは、中国の笛を演奏し、きれいな音色を響かせてくれました。



ファミリーバンド「くぜみー」
会場は盛り上がり、笑顔に包まれました。

あ」は息のあった演奏を、ピアニストの鈴木凜太郎さんは、お父さんとの連弾も披露され、心あたたまる音楽会となりました。
当日は240名ほどの観客が来場し、多くの方から「良い音楽会でした」「感動的でした」と好評をいただきました。



楽しい歌や手遊びに観客総立ちで盛りあがりました!



色々な種類の魚に子どもたちは夢中!



大学生によるチアは迫力満点!



福祉委員によるミニ子育てサロン

民児協だより

【北摂ブロック】

吹田市

夢のファミリーフェスタ

吹田市民児協では、毎年、児童とその保護者を対象とした夢のファミリーフェスタを開催しています。

このフェスタは、平成8年から続く本会主催事業の1つです。

昨年は、5月11日に吹田市文化会館（メイシアター）で、900人を超える親子連れが集まり、会場は熱気であふれました。

今回は、メイン演目として4組のパ

フォーマーをお招きし、歌、ダンス、ジャグリングなどを披露していただきました。子どもたちは、迫力満点のステージに終始大よろこびでした。

ゲームコーナーでは、魚つり、バランスゲーム、けん玉・こま、輪投げ、的当てなどを配置し、子どもたちに楽しんでもらいました。また、今回から新たに、市社協、福祉委員会、ボランティア連絡会の皆さんにも参画してもらい、ミニ子育てサロン体験コーナーや各団体のPRコーナーを設けるなど、他団体との連携も図ること

ができ、充実した内容となりました。コロナ禍を経て、約3年ぶりの開催になりましたが、私たち委員も、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。笑顔で楽しく活動しているようすを感じてもらうことも、きっと大きなPR活動になったことと思います。

吹田市民児協





【河北ブロック】

四 條 畷 市



「グーグルドライブ」アプリをインストールするところからスタート

ICT化実践開始

ICT（※1）化による民生委員の活動環境改善の一方策としてセキュリティ確保を最優先とし、すでに当市社協で実績のあったグーグルワークスペースを導入しました。

昨年度から理事委員が試用を開始。初歩の初歩からはじめる委員も多く、「委員のスマホやパソコンの活用調査」も参考にしながら、簡単な操作と無理のない運用ができることをシステム開発の前提としました。



ていねいに個人レッスン
最初は苦戦、今は少し自信あり

順次各部会による勉強会を行い、定例会前後には利用相談会を開催。11月から全委員を対象に運用を開始しました。

機能的にはチャット、ストレージ（Drive）、カレンダー及び掲示板の4機能に限定。従来の連絡手段や紙ベースの資料も並行して運用し、みなさんの利用度合いを聞きながら、使いやすいICTとなることを目標としています。

機種やOS（※2）の違いによるスマホ操作の複雑さや、各々の通信環境の制約、グーグルの無償サービス範囲でのサイト構築において色々な課題に直面してい



真剣にとりくむ委員

ますが、部会内での連絡がしやすくなったとの声もあり、導入の効果がみられています。

費用や運用の面に課題はありますが、少しでも活動環境を改善できる取り組みを今後も続けていきたいと考えています。

四條畷市民児協

（※1）ICT…情報通信技術
（※2）OS…基本ソフトウェアのことで、パソコン操作やアプリを使うための土台。スマートフォンで使われている代表的なOSはiOSやアンドロイド。



交流会前のOB民生委員紹介



OB民生委員と現民生委員のグループワーク

民児協だより

【河南ブロック】

藤井寺市

ひとりで抱え込まない体制 づくりをめざして

藤井寺市民児協では、これまでの紡ぎを絶やすことのないよう、工夫を重ねた事業を展開しています。

100年以上の歴史を有す、民生委員の活動は、先人から受け継ぎ、そして引き継ぎ、つながりを絶やさないことで今日に至っておりますが、ここ3年はコロナによって我々の生活は一変し、民生委員活動にもさまざまな制約が課されました。

その結果、地域のつながりだけではなく、民生委員間のつながりも危うい状況になっているという危機感から、OB民生委員と現役民生委員の交流会（通称「語らん会」）を実施しました。

OB民生委員からは、当時の苦労話、福祉委員や自治会との連携の必要性などを語っていただき、そして、現役民生委員からは、どのようなところに気をつけ、見守り訪問をしたらよいかなど質問し、OB民生委員からの助言を熱心に聞き入っていました。

このほかにも、「民生委員の民生委員による民生委員のための研修会」と称し、活動における考え方などを知る機会を設けてきました。

コロナにより、接し合いの交流ができなくなった今だからこそ、ひとりで抱え込まない体制づくりと、交流をもつての繋がりを見つめ直す機会が大切だと思っています。

藤井寺市民児協

「ちょっと待って! それ、特殊詐欺ですよ!」 ポップアップカードで見守り活動!!

コロナによる活動自粛をきっかけに、一人暮らし高齢者等の要支援者が孤立や不安を抱えないよう、チラシやポストカードを作成し、ポスティングによる見守り活動を続けてきました。

今回は、「特殊詐欺」について、羽曳野警察署の方を講師として迎え、研修を行い、得た情報を一人暮らし高齢者に伝えるため、注意喚起用のポップアップカード作成し、年末にかけて配付しました。

「特殊詐欺に
気をつけてね」と
声かけ訪問



手作り
ポップアップカード



【泉州ブロック】

阪南市

子どもの見守り

阪南市民児協は高齢者の見守りはもちろんのこと、子どもの見守り活動にも力を入れています。

地域福祉部会では、阪南市保健センターが実施している離乳食講習会等を受講される方が安心して講習会に参加できるよう、乳幼児を保育する活動を通年で行っています。赤ちゃんと一緒に年がちな保護者の方が講習会での交流、また赤ちゃんが他の大人とのふ



保健センター保育 民生委員に優しく抱っこされ、眠たくなることも…ZZZ

れあいを通して成長の場となるよう活動しています。

児童福祉部会では市の関係機関と連携するために、子どもに関する担当課を招いて子育て支援の最新情報を共有したり、民生委員児童委員として協力できることを話しあっています。

また、子どもたちが地域で過ごす時間が多くなる夏休み前に学校を訪問し、情報交換をしています。学校と民生委員がさらに信頼関係を深め、子どもたちが安全に楽しく過ごせるようにと例年行っ



児童福祉部会 年に1度市の担当課を招いて子育て支援の最新情報を伝えてもらっています。

います。

阪南市内の各地域では登下校の見守り活動を行っています。継続的に活動することで顔なじみになり、子どもたちの元気なあいさつは活動の糧となっています。

時代が多様化していく中、子どもたちが地域で安全に健やかに成長していくのを見守っています。

阪南市民児協



登下校見守り 元気いっぱいの子どもたちが安全に登下校できるよう見守っています。

今回は、大東市民児協の

主任児童委員活動について

をご紹介します。

■必要としている親子のために

大東市民児協では、令和5年5月から、月に1回ほのぼのベース「ぴよぴよ」という子育て中の親子が集まる広場（以下広場）を大東市立総合福祉センターで開催しています。

コロナ前は、市内6カ所で民生委員や校区福祉委員会が主となり、子育てサロンを開催していました。

ところが、コロナ禍で中止となつて以降、担い手や会場の問題等で再開のめどが立たない状況がありました。

「広場を必要としているお母さんのために、親子が出あえる場を自分たちで作りたい」と立ちあがったのが、主任児童委員代表の坂本さんと7名の主任児童委員でした。

大東市社協のバックアップで会場を確保。広場を周知するため、乳幼児健診時にチラシを配布するほか、子育てを支援する機関等にも配架。

また、市の広報課に依頼し、広報誌に毎月掲載してもらえるように。それがきっかけで、広場のことを知った方も多く、効果を感じています。



■ありがたいのことは

広場では、身体測定や保健師からの話、季節の遊び（運動会・お月見の制作・クリスマス会等）、リトミック等を実施。

月によって、お母さん同士でゆっくり話す時間も作っています。

スタッフは、主任児童委員と市の保健師。毎月、十数組の親子が参加しています。

あるとき、2人目を妊娠中のお母さんから、スタッフに「子どもが産まれると年子になるので子育てが不安」と相談がありました。心配ごとを聞き、年子の育児をしている先輩ママを紹介すると、帰り際には、不安そうな表情から一転し、「来てよかった。ありがたい」と、にこやかな表情に。少し先をいくお母さんとの会話は何ものにも代えがたいものです。

「広場を立ちあげてよかったと改めて感じた瞬間だった」と坂本さん。

■もっと早く知っていたら

コロナ禍の出産で周りに知りあいがいなかったお母さんは「ママ同士で話ができてうれしい。もっと早く知っていたらと思うほど」と言います。

また、「ここに来ると子どもが楽しそう。広場の日を優先して、他の予定を立てている」というお母さんも。おばあちゃんやお父さんも幅広く参加できるあたかい雰囲気があります。

■笑顔で楽しく

広場で心がけていることは、「笑顔で楽しく。これにつける」というのは、主任児童委員副代表の山下さん。みんなに笑顔になつてもらいたいという思いで親子を迎え、いっしょに楽しんでいます。

校区の制限なく利用できるのも、この広場の良いところ。市の保健師は、「近所で同年齢の子どもと出会う機会が少ないなか、校区をこえてお母さん同士で交流できる場はとても貴重」と言います。

今後は、府社協の助成金を活用し、さらに広報活動に力を入れていく予定。

「多くの親子に参加してもらい、民生委員やボランティアの方などの子育て応援団を増やし、親子がホッとできる場となるよう広場を発展させていきたい」と坂本さんは力強く締めくくりました。

これからの活動の広がりが楽しみです。

はじめて、パパといっしょに来ました。楽しかった。また来ます！（0歳児ママ）



サンタさん登場。プレゼントよりサンタさんが気になります。

クリスマスイベントのハンドベルの音色に乗りだして手拍子♪



チームワーク抜群の8名の主任児童委員。お互い無理をしないよう協力しあっています。

たくさんの
ご応募お待ちしております！

北海道産の小麦粉をはじめ、無添加にこだわった厳選素材を使用したクッキーです。特にスティッククッキーは、アーモンドとバターが風味が豊かで、どこか懐かしい味わいとなっており、大人から子どもまで人気の商品です。今回はそのスティッククッキーをはじめ、さんさんベーカリーで人気のクッキーをセットでお届けします。



洋菓子セット

4名様

応募方法

必要事項をもちろんご記載いただき、締切日までに**FAX**または**本会ホームページの応募フォーム**からご応募ください。

応募締切 **令和6年3月15日(金)午後5時必着**

必要事項

- ①氏名(ふりがな)②住所③電話番号
- ④所属(民生委員・児童委員、関係機関職員、その他)
- ⑤一言コメント・感想
(本誌へのご意見・ご要望などお気軽にお寄せください)

宛先

大阪府民生委員児童委員協議会連合会事務局

[FAX] 06-6762-9487

[H P] <https://www.osakafusyakyoku.or.jp/minkyo/>



〈Wellおおさか49号の当選者〉

おめでとうございます！

皆さんご応募ありがとうございました！

豊中市K.M様、高槻市N.Y様、枚方市H.M様、八尾市H.K様

事務局だより



全国から民生委員・児童委員の仲間が集結！

in 広島

昨年の11月21日(火)～22日(水)、広島県広島市で第92回全国民生委員・児童委員大会が開かれました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して初めての全国大会。参加者総数は、約3,300名で、大阪府民児協連からは、5年ぶりに川西利則会長ら総勢42名が大会に参加しました。

1日目は広島グリーンアリーナを会場に、山陽高校和太鼓部 弾～DAN～の皆さんによる圧巻のパフォーマンスで幕があげました。式典では主催者から温かい歓迎の挨拶をうけ、表彰状授与の後、ド



キュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします」でメガホンを取った信友直子さんの特別講演がありました。

2日目は9つの会場に分かれ、それぞれが関心のあるテーマの分科会に参加しました。

広島で志を同じくする全国の仲間に出あい、たくさんの気づきや刺激を受けました。

信友直子さんのお話にもあったように、“お互いさまのまーるくつながる地域”をめざし、これからもワンチームで前へ進んでいきたいと思っています。

民生委員・児童委員が
応援団!!
わがまち
★逸品★
泉南市民児協
Vol.14

プレゼントの商品の紹介

社会福祉法人
いずみ野福祉会
デイセンターせんなん
のみなさん

就労継続支援B型事業「泉南作業所」と生活介護事業「泉南デイホーム」からなる「デイセンターせんなん」。障がいの重い人から比較的軽い人まで約80人の利用者さんが、働くことを軸に、それぞれのグループに分かれて活動しています。

平成5年の開所当初からあるのが、安心安全なパンを製造する「さんさんベーカリー」です。北海道産の小麦粉をはじめ、無添加にこだわった厳選素材を使用。30年前から米と米麹から作る自家製の天然酵母パン作りを行っており、1日100斤以上の食パンを焼き、約40種類の菓子パン・総菜パンを製造しています。現在、18人の利用者さんがパン作りを担当。ほとんどの工程を利用者さんが分担して作業し、オーブンでの焼き具合も自分たちで加減しています。中でも、当ベーカリーの主力製品は、天然酵母と国産小麦粉の食パンから作るパン粉です。オーガニック商材を扱う京都の卸店へ、毎月1,000袋以上のパン粉を納品。高級スーパーや百貨店など、さんさんベーカリーのパン粉は全国で販売されています。



大人気のパン粉

パンと同じく、国産小麦や有機食材など安心安全にこだわっているのがクッキーです。現在、14人の利用者さんがクッキー担当として、日々おいしいクッキーを焼いています。そんなパンやクッキーは、当施設で販売しているほか、泉南市役所や社協、近隣の市役所、介護施設など、月曜日から金曜日

まで毎日出張販売に。皆さん、仕事を任せられているので、忙しい中にもやりがいをもって頑張っています。

また、施設内では陶芸などの創作活動も行っており、人形や干支の置物、シーサーなど個性的で表情豊かな作品を制作。フリーマーケットや手作りマルシェなどにも積極的に参加しています。このほか、施設外就労では、阪急泉南グリーンファームで、ベビーリーフなどの野菜の袋詰めも行っています。



毎年開催している作品展に向け、陶芸づくりに励んでいます。

仕事の責任感や働くことの喜びを大切にしているデイセンターせんなんの皆さん。誰もが気持ちよく働けるよう「利用者さんも、それを支援するスタッフも、もっと働きやすい環境にしていきたい」と話すサービス管理責任者の高松さん。

30年の歴史あるベーカリーで、これからも安全でおいしいパンやクッキーを地域に提供していきます。



杉本 昇さん
(泉南市民生委員児童委員協議会 会長)

働くことを軸として、役割をもって取り組んでいる「デイセンターせんなん」の皆さまと連携し、障がい福祉に取り組んでいきたいと思っています。

★お問い合わせ先★

〒590-0504 大阪府泉南市信達市場1222-12
TEL.072-483-3082

編集後記

今号の特集で、地域の親子のためにエネルギーギッシュに活動している主任児童委員に取材。3名に共通していたのが「明るく素敵な笑顔」と「安心感」。子育てをしている身として皆さんが近くにいてくださったらどれだけ心強いだろうと思いました。(福)

Well おおさか

vol.50
(通巻82号)



発行日: 令和6年2月

発行: 大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局: 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



QRコードから
簡単アクセス